

# 京王電鉄京王線（柴崎駅～西調布駅間）及び 同相模原線（調布駅～京王多摩川駅間） 連続立体交差事業の概要



(イメージ図)

## 事業のあらまし

- 東京都では、京王電鉄京王線の柴崎駅付近から西調布駅付近と相模原線の調布駅付近から京王多摩川駅付近にかけて、道路と鉄道との連続立体交差事業を実施しています。

この事業は、京王線の柴崎駅～西調布駅間約2.8kmの区間と相模原線の調布駅～京王多摩川駅間約0.9kmの区間を地下化することにより、18箇所の踏切道を解消するとともに8箇所の都市計画道路を立体化するものです。

- 事業の経緯

平成10年4月 建設省(現国土交通省)事業採択

平成14年2月 都市計画決定

平成15年3月 事業認可を取得

平成16年9月 工事着手



平成20年5月  
京王線・相模原線交差部(事業中)

## 事業の概要

- 都市高速鉄道第10号線京王電鉄京王線・相模原線(平成14年2月6日 都市計画決定)

①事業区間……京王線：柴崎駅～西調布駅間

相模原線：調布駅～京王多摩川駅間

②延長……約3.7km

③構造形式……地下方式

④駅施設……国領駅、布田駅及び調布駅

1) ホーム延長：各210m

2) ホーム幅員：約4.0m～約13.0m

3) 各ホームにエレベーター・エスカレーターを設置

- 都市高速鉄道附属街路(平成14年2月6日 都市計画決定)

幅員：6m～8m, 路線数：2本

## 事業の効果

### 交通の円滑化

- 踏切がなくなり、交通渋滞が解消されます。

### 安全性の向上

- 踏切事故がなくなり、道路と鉄道それぞれの安全性が向上します。

### 地域の発展

- これまで鉄道により分断されていた市街地の一体化が図られます。
- 現在、線路になっている土地の有効利用が図られ、魅力あるまちづくりに貢献します。

### 利便性の向上

- 京王線と相模原線との乗換えが便利になります。
- 各駅にエレベーター、エスカレーターを設置することにより、誰もが快適に使える駅になります。

# 立体化されることにより解消される踏切

踏切道の名称	道路名称	事業開始前の踏切道の幅員(m)	将来の形態
柴崎 6号	市道南155-5号	6.0	立体交差
国領 1号	調3・4・18	9.2(※1)	立体交差
国領 2号	市道南138号・141号	4.0	立体交差
国領 6号	市道南137号・140号	4.0	立体交差
国領 7号	市道南136号・139号	3.0	立体交差
国領 9号	市道南139-1号・139-2号	5.0	立体交差
布田 1号	調3・4・26	8.0	立体交差
布田 4号	市道南25号・45号	3.1	立体交差
布田 5号	市道南26-6号・43号	2.0	立体交差
布田 7号	調3・4・28	3.6	立体交差
布田 8号	市道南26-17号	6.0	立体交差
調布 1号	調7・5・1	10.4	立体交差
調布 3号	市道南12号・17号	6.3	立体交差
調布 4号	市道南13-2号	2.6	立体交差
調布 5号	調3・2・6	9.0(※2)	立体交差
調布 11号	市道西98号・99号	3.7	付替側道設置(調鉄10付1)
相模原線調布1号	市道南15号・18号	5.8	立体交差
相模原線調布6号	市道南71-10号・74-10号	1.9	付替側道設置(調鉄10付2)

調布4号、調布11号、相模原線調布6号以外は踏切道改良促進法により、立体交差化、構造の改良又は歩行者等立体横断施設を実施すべき踏切道に指定  
 (※1) 平成20年9月 16.0mに幅員変更  
 (※2) 平成14年4月 16.2mに幅員変更

# 交差する都市計画道路

都市計画道路名	計画幅員(鉄道交差部)(m)	道路の通称
調3・4・7	24.0	-
調3・4・18	16.0	狛江通り
調3・4・26	16.0	布田南通り
調3・4・28	20.5	蓮慶寺の通り
調3・4・29 調3・4・30	-	(駅前広場)
調7・5・1	15.0	市役所前通り
調3・2・6	25.0	鶴川街道
調3・4・10	25.5	品川通り



平成22年1月  
狛江通り(事業中)



平成22年1月  
市役所前通り(事業中)



# 連続立体交差事業等の概要図

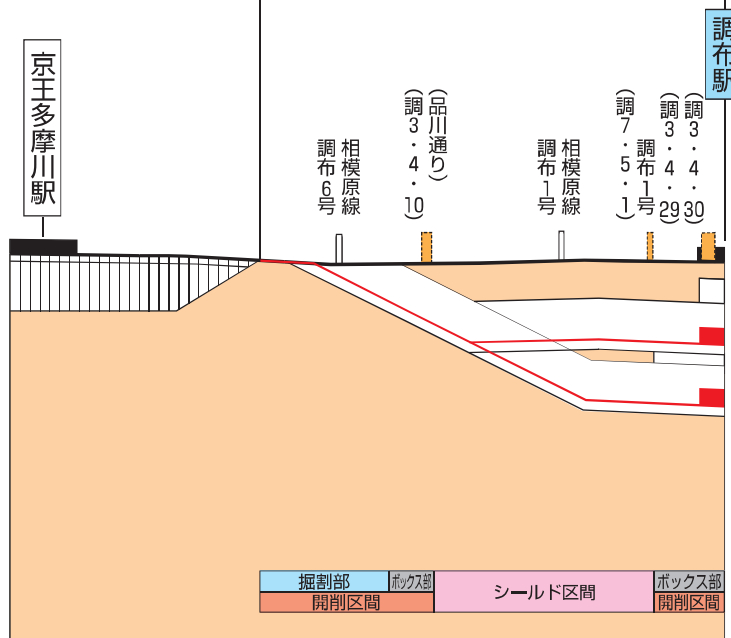
平面図



縦断図

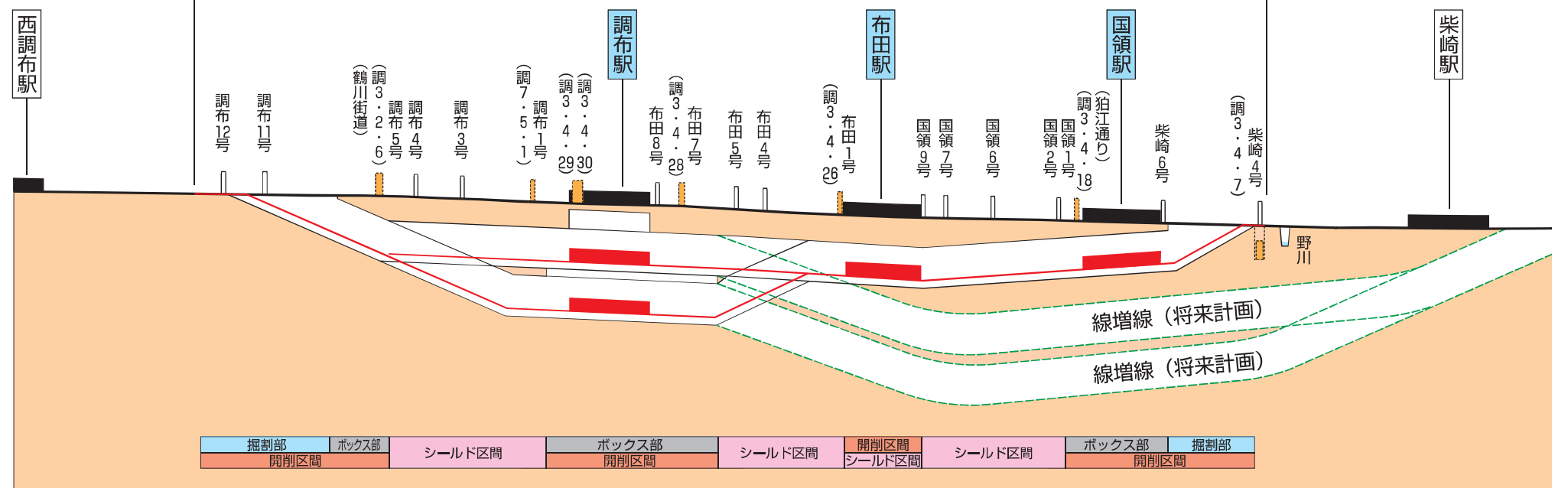
相模原線

事業区間 約0.9km



京王線

事業区間 約2.8km



# シールド区間



- 凡例
- 上り線シールドトンネル
  - 下り線シールドトンネル

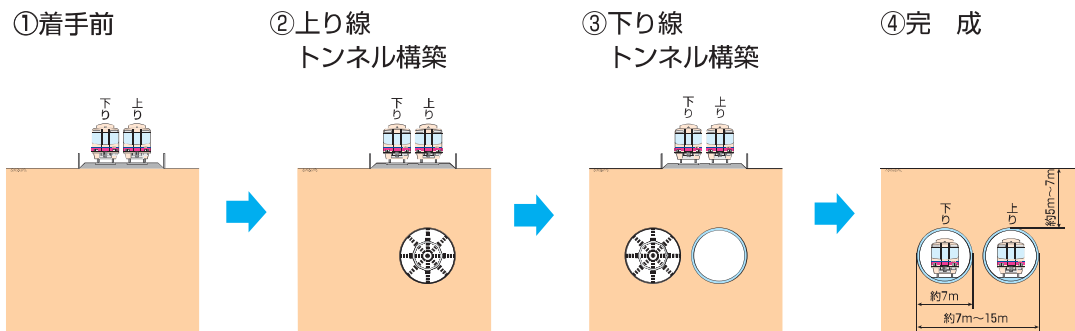


調布西立坑～鶴川立坑・品川立坑間を掘削するシールドマシン



国領立坑～調布東立坑間を掘削するシールドマシン

## 施工順序図

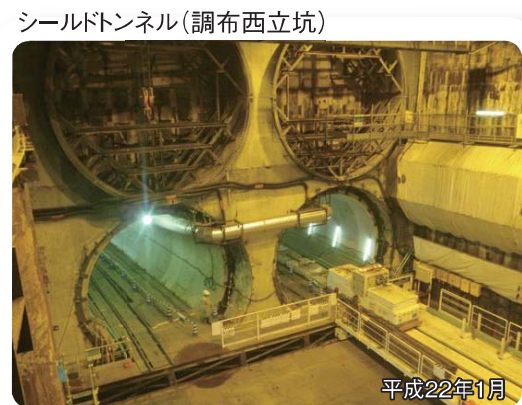


この断面図は、新宿方から調布方を見たものです。



鶴川立坑

平成22年1月



シールドトンネル(調布西立坑)

平成22年1月

# 開削区間

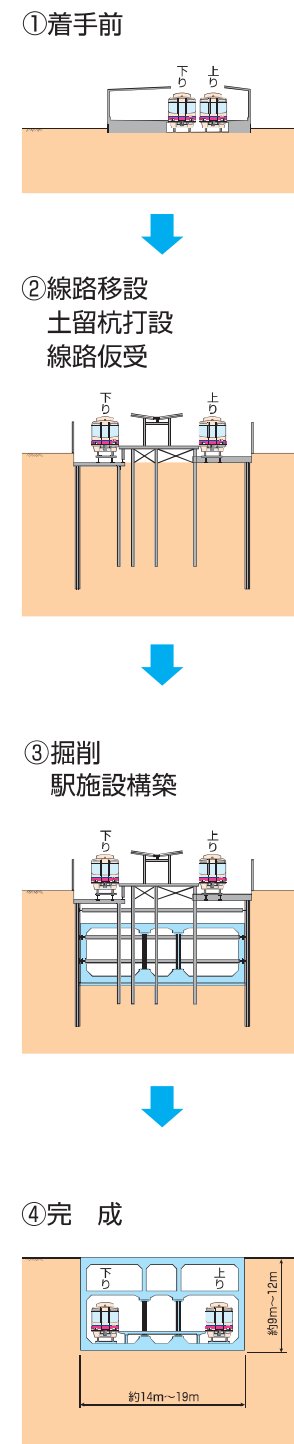
## 施工順序図

### 掘削部

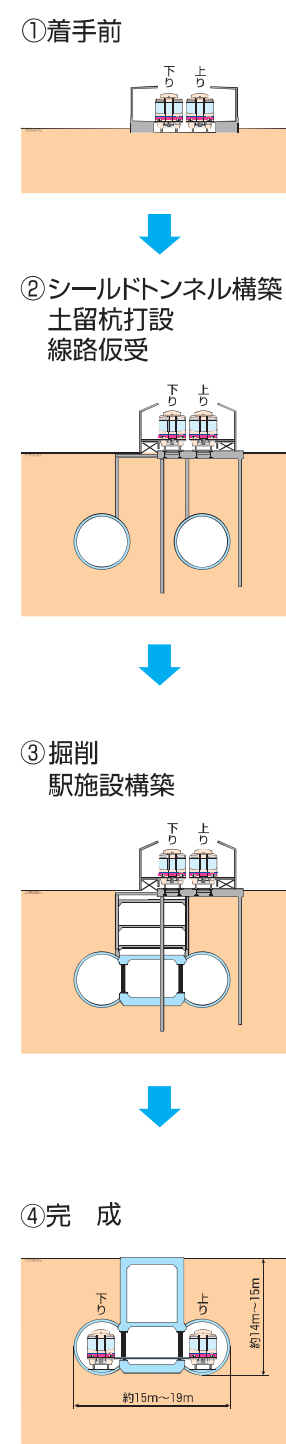


### ボックス部

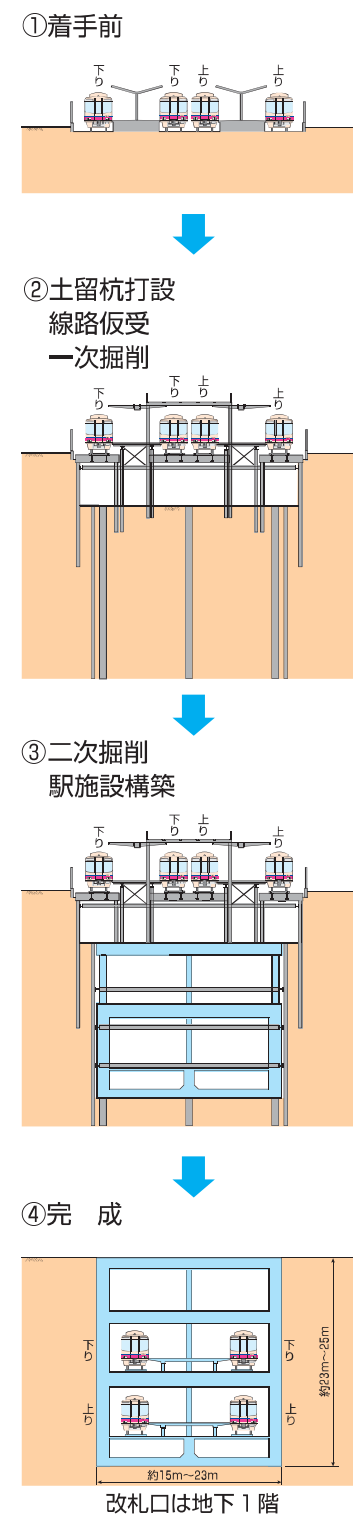
#### 国領駅



#### 布田駅



#### 調布駅



この断面図は、新宿方から調布方を見たものです。



着手前

一次掘削

仮駅舎化

二次掘削

駅施設構築

平成18年9月

平成20年5月

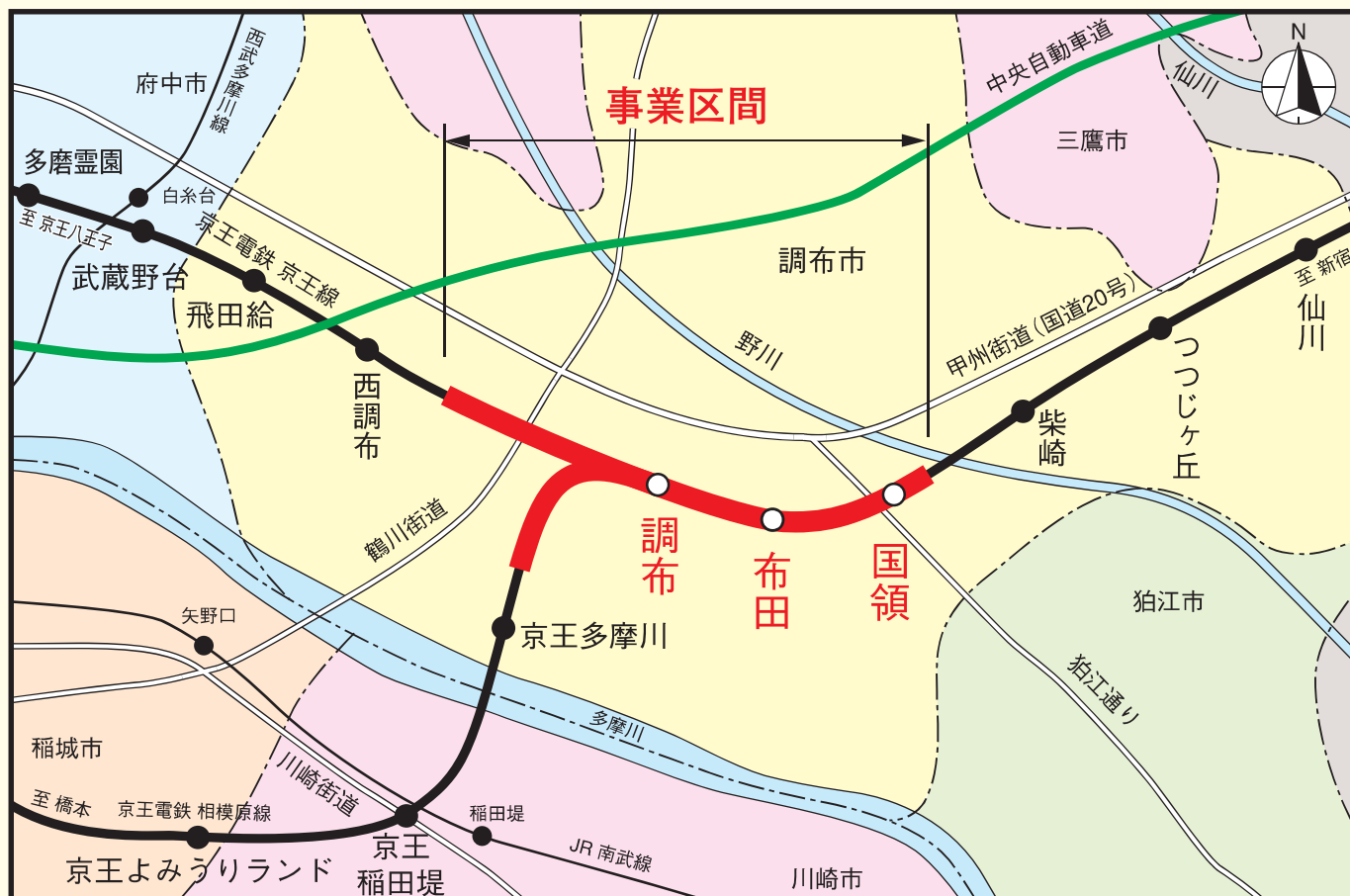
供用開始平成20年9月

平成21年10月

平成21年12月



## 位置図



## 連絡先

東京都建設局道路建設部鉄道関連事業課	TEL 03(5320)5333 (ダイヤルイン)
調布市都市整備部街づくり推進課	TEL 042(481)7417 (ダイヤルイン)
京王電鉄株式会社工務部調布工事事務所	TEL 042(498)3220 (ダイヤルイン)
調布用地事務所	TEL 042(498)3223 (ダイヤルイン)

人と街 やさしく支える 立体交差

2003年1月に募集した標語の最優秀作品

調布市染地在住 加藤 修さん

連続立体交差事業は「東京都が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です。

